
微生物系統保存施設 MCC メールニュース No. 20 (2022.5.31 発行)

国立研究開発法人国立環境研究所

研究所の池のほとりにある桐の木が淡い紫色の花を鈴なりに咲かせました。国立環境研究所 微生物系統保存施設 (MCC-NIES) から MCC メールニュース No. 20 をお届けします。

目次

NIES 株トピックス

NIES 株を使った論文 (2022 年 2 月 - 2022 年 5 月分)

新規公開微生物株 (2022 年 3 月 - 2022 年 5 月分)

お知らせ

NIES 株トピックス

北海道沿岸のウニやサケの大量斃死に関係する赤潮原因生物 *Karenia selliformis*

昨年の秋に北海道東部太平洋岸でウニやサケなどの大量斃死が起きて、総額 100 億円に迫る甚大な漁業被害が発生しました。この大量斃死は、同じ時期に大規模に発生していた赤潮が原因と考えられています。Iwataki *et al.* (2022) は、この赤潮原因生物が渦鞭毛藻の *Karenia selliformis* (カレニア・セリフォルミス) であることを明らかにしました。*K. selliformis* の赤潮が日本で確認されたのははじめてのことです。現在、国内の研究機関で本種の赤潮発生メカニズムや毒性成分等に関する研究が進められています。Iwataki *et al.* (2022) で使われた株が当施設に寄託され、ご利用いただけるようになりました。

Karenia selliformis NIES-4541, 4542, 4543, 4544

Iwataki, M., *et al.* 2022. "Morphological variation and phylogeny of *Karenia selliformis* (Gymnodiniales, Dinophyceae) in an intensive cold-water algal bloom in eastern Hokkaido, Japan." *Harmful Algae*, 114, 102204.

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1568988322000336>

NIES 株を使った論文 (2022 年 2 月 - 2022 年 5 月分)

NIES 株を使った研究成果が発表されました。

https://mcc.nies.go.jp/07information/07references_j.html

新規公開微生物株（2022年3月－2022年5月分）

2022年5月までにご寄託いただいた35株が、ご利用いただけるようになりました。

https://mcc.nies.go.jp/07information/07new_strains_j.html

お知らせ

●新たに全ゲノムが解読された株

Nitzschia putrida NIES-4239

Unidentified pedinophyte NIES-2566

●新たに無菌化された株

Mayamaea permitis NIES-2724

Pseudanabaena cinerea NIES-4063

●タイ国産株について

タイ国産の株については生物多様性条約のABS（遺伝資源へのアクセスと利益配分）との関連から、一部の株について提供を見合わせていましたが、昨年度、当施設とタイ国立科学技術研究所（TISTR）との間で日本での分譲を可能とする契約を締結することができ、タイ国産株をご利用いただけるようになりました。

現在、以下の20株が新たにご利用いただけるようになりました。

Microcystis aeruginosa NIES-3105, 3106, 3107, 3109, 3110, 3111

Planktothrix agardhii NIES-910

Planktothrix mougeotii NIES-844, 911, 912, 913

Planktothrix pseudagardhii NIES-845, 915, 916

Planktothricoides raciborskii NIES-918, 920, 921, 925, 3114

Raphidiopsis sp. NIES-3080

●日本微生物資源学会第28回大会案内

日本微生物資源学会第28回大会（2022年7月1日－3日）は、東京理科大学野田キャンパスでの発表とWEB配信を併用したハイブリッド形式にて開催されます。当施設の活動実績についてのポスター発表を行います。また当施設のスタッフによる研究発表として、「淡水性羽状目珪藻2種のモデル生物としての可能性」、「氷雪性緑藻 *Chloromonas* sp. NIES-2381 およびその近縁株の種分類学的研究」、「多細胞

性ボルボックス類（緑藻）の凍結保存株の確立」の3件の研究発表が予定されています。

7月1日には一般の方々に公開されるシンポジウム「持続可能な微生物の利用と分類」が開催されます。藻類に関する講演もあります。

<https://www.jsmrs.jp/ja/#jsmrs28>

●日本植物学会第8回大会案内

日本植物学会第86回大会（2022年9月15日、17日-19日）は、京都府立大学下鴨キャンパスでの発表とWEB配信を併用したハイブリッド形式にて開催されます。当施設のスタッフによる「淡水性珪藻 *Mayamaea pseudoterrestris* における銅暴露時の急性細胞応答」についての研究発表が予定されています。

<http://bsj.or.jp/bsj86/>

第7回 藻類培養トレーニングコース開催報告

2022年3月25日に第7回 藻類培養トレーニングコースをオンラインにて開催しました。20名の方からお申し込みをいただき、事前に伺ったご質問ごとに14のグループに分けて質疑応答を行いました。今年度のトレーニングコースは、これまでいただいたご要望やアンケートの結果を踏まえて、対面での開催が可能となるように、内容や時期を検討の上でご案内いたします。

メールニュースは1、5、9月月末に発行します。

過去のメールニュースは以下から閲覧可能です。

https://mcc.nies.go.jp/07information_j.html#mail_news

メールニュースの受信停止は、mcc@nies.go.jp までご連絡ください。

ご質問、ご意見は、mcc@nies.go.jp までご連絡ください。

本メールに記載された内容を予告することなく変更することがあります。

本メールに掲載された記事を許可なく複製・転載することを禁止します。

発行

国立研究開発法人国立環境研究所

微生物系統保存施設

mcc@nies.go.jp

<https://mcc.nies.go.jp/>

https://twitter.com/mcc_NIES

https://www.instagram.com/mcc_nies/

MCC Mail News No. 20 (2022.5.31 発行)